



# 徳成寺

## 寺いから版

### 第101号 2015年5月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

雨の多い4月が終わったと思ったら、チリの火山噴火

ネパールの大地震など天変地異が次から次へと起きています。

そう考えると、次は何が起きるのかいよいよ不安になります。

未知のことに今から尻込みしてしまいそうですが、しっかりと

眼とところを開けば、楽園が見つかるかもしれません。

日頃から、眼とところを開く習慣が大事です。私たちの眼と

ところを開かせようと働きかけているのが仏様です。

仏様と共にある暮らしを送られますように。

\*子供向け教材「お坊さんといっしょ」をご希望の方は連絡して下さい。無料進呈中

発行責任者

住職

大山健児

坊守

大山ひとみ



## 徳成寺・跡取り長男の東京奮闘記

兄です。 社会人になって一ヶ月、社会の荒波だとか、茨の道だとか色々と厳しい事を聞きますが、一人で生きていくという事はここまで大変な事なのかと痛感しております。

新人という事もありますが失敗をしては、いつも何かしら怒られています。しっかりしてる、自立ができていると言われて育ってきた身ですが、実際にはそれほどではなかった、井の中の蛙であった、という事を実感しています。

怒られる度に凹みますが、何とか気持ちを切り替えて「ここで失敗できて良かった」と思いながら前に進んでいるつもりです。実家に帰る頃には自分が真に自立できている、自分の仕事のスタイルが確立できている状態になっていると信じて1日1日を生きていこうと思いました。

写真は両親がくれた仕送りの中に入ってた胃腸薬です。ストレスを感じると胃腸にダメージがくるのでこういう贈り物は非常にありがたいですね。こう言う気遣いが出来るような大人になりたいものです。

